

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ヘテロ接合型人工微細構造による赤外エネルギーハーベスタ
研究代表者	長尾 忠昭（国立研究開発法人物質・材料研究機構・ナノシステム構築ユニット・グループリーダー） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、赤外プラズモンについて原子分子レベルからの研究や光熱変換研究において、これまでに国際的に高い評価を受ける業績を上げている。これらの研究成果に裏付けされ、ヘテロ接合型人工微細構造による赤外エネルギーハーベスタを構築しようとする本研究は、世界的にも先駆的な研究である。エネルギー変換デバイスとして見た時には、未だチャレンジングな部分もあるが、既に萌芽的な成果も得ており、成功を導いたときの社会的意義は大きい。以上より、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>